

令和4年度おんしんの事業概況

業績トピックス

当金庫の令和4年度の業績は以下のとおりであります。

貸出金は、「おんしん営業メソッド」の徹底、営業支援システム「BankNeo」の活用による取引先との関係強化に取り組みつつ、新規住宅ローン商品の導入や目的型消費者ローンの推進などにより、平均残高が7.02%増加したことから、利回りが0.05ポイント低下したものの、貸出金利息は2,416百万円と99百万円増加しました。

預積金も、年金受取指定口座の推進やキャンペーン定期預金商品の提供などに取り組んだ結果、平均残高は2.19%増加したものの、利回りは前期に同じ0.03%となったことから、預積金利息は微増の78百万円となりました。

資金運用におきましては、引き続き安定的な利息・配当金による収益を目的として有価証券を中心に資金の運用を行っており、有価証券と預け金を合わせた利息配当収入は270百万円増加の1,496百万円となりました。売買などに伴う利益(ネット)は770百万円減少いたしました。

役務取引等収益(受入手数料)は54百万円増加し、役務取引等費用(支払手数料)も56百万円増加いたしました。

経費は、人件費が34百万円ほど増加し、物件費も19百万円ほど増加しております。また、貸倒引当金は237百万円の戻入となりました。

以上の結果、経常利益では1,050百万円(前期比105百万円減益)、税引前当期純利益も1,049百万円(前期比102百万円減益)となり、法人税などを勘案した(税引後)当期純利益は791百万円(前期比53百万円増益)となりました。



(単位:百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
預金積金残高	204,906	210,023	215,643	219,337	240,755	248,112	249,088
貸出金残高	124,144	127,308	126,056	127,461	131,491	134,863	156,788
業務純益	961	1,118	1,209	1,761	1,174	1,358	896
コア業務純益	1,004	960	1,197	1,351	1,535	1,046	1,374
経常利益	1,253	1,365	1,289	738	815	1,155	1,050
当期純利益	983	1,020	971	502	597	737	791
自己資本比率	14.17%	13.86%	14.06%	13.91%	15.92%	15.60%	15.56%

(注)本ページの預金には譲渡性預金を含みます。

ディスクロージャー(資料編)の閲覧に係るご案内

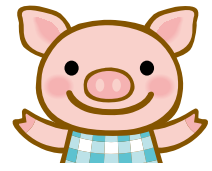
詳細な計数資料等については、「資料編」として当庫のホームページに掲載しておりますので、閲覧を希望されるお客さまは、下記のウェブサイトからご覧ください。なお、インターネットでの閲覧が困難なお客さまは別途ご案内いたしますので、当金庫職員までお申出ください。

当金庫のウェブサイト(ディスクロージャーの掲載ページ)

<https://www.shinkin.co.jp/onga/about/disclosure.html>

なお、スマートフォン等は、こちらからでもアクセスすることができます。

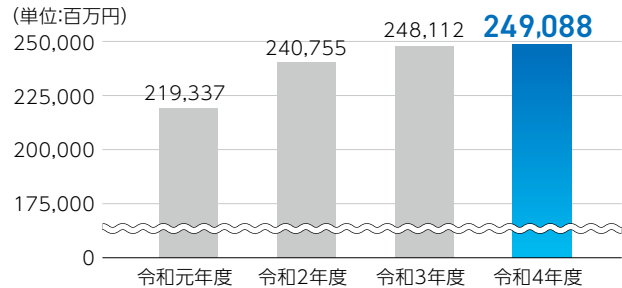




預金積金の推移状況

令和5年3月末の預金積金残高は249,088百万円で、地域の皆さまからの預金により資金を調達しています。一般人、事業法人のほか、地方公共団体からの預金もお預りしています。おんしんは、水巻町、遠賀町の指定金融機関も務めています。

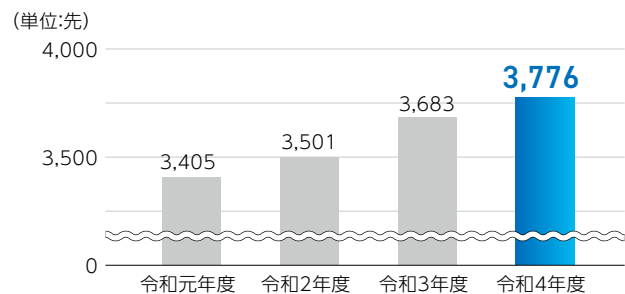
預金積金残高

249,088百万円


事業性融資先数の推移状況

令和5年3月末の事業性融資先数は3,776先です。引き続き地域の中小企業等へのご支援に全力で取り組み、昨年より93先の増加となっています。

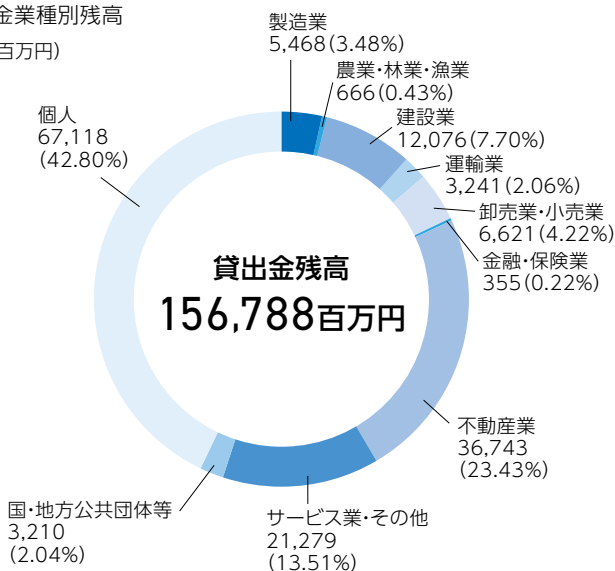
事業性融資先数

3,776先


融資推移状況

令和5年3月末の融資残高は156,788百万円となりました。「地元経済に対する貢献度の目安」といわれる預貸率は62.94%となっており、地域の皆さまへ安定した資金を供給しています。また、信金中央金庫などによる代理貸付の残高である債務保証は、936百万円となっています。

貸出金業種別残高
(単位:百万円)



貸出金残高

156,788百万円
